

# 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理実績報告書(様式1)

1. 本報告書の対象期間は令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の1年間です。
2. 本報告書の対象廃棄物は、佐賀県内及び県外の事業所から受託し、又は自社の事業活動から生じた産業廃棄物について、佐賀県内に所在する次の施設で処理・処分した物が対象となります。
  - 1) 中間処理施設、
  - 2) 埋立処分場

なお、移動式施設の許可を有する場合は、佐賀県内で処理した産業廃棄物のみが対象となります。
3. 前年度の処理実績が何もなかった場合は、下記の「事業所の概要」、「事業の内容」、「処理の有無」欄まで記入して提出してください。
4. 別紙「産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理実績報告書の記入の手引き」に記入要領・記入例を記載しておりますので参考にしてください。
5. 提出された報告内容について、お問い合わせする場合がありますので、控えを取っておいてください。

事業所の概要	事業所名		許可を受けている事業内容の番号左横に、○をつけてください。		
	所在地				
	フリガナ	フリガナ	事業の内容	1. 収集・運搬	
	代表者氏名	記入者 (部課、氏名)		2. 積替・保管	
	記入年月日	令和 年 月 日		TEL	3. 中間処理
				FAX	4. 埋立処分
				5. 海洋投入処分	

処理の有無	令和元年度の1年間に産業廃棄物及び、特別産業廃棄物を処理しましたか。該当する番号左横に○をつけてください。	
	1. 処理した	2. 処理実績なし

添付した「記入の手引き」を参考にして、裏面「様式2」及び別紙の「様式3」に貴事業所で処理(収集運搬は除く)した産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の状況について記入してください。

上記の事業所の概要、事業の内容に記入のうえ、ご提出ください。

\* この報告書に記載された個人情報、産業廃棄物の適正処理推進のため利用させていただきます。これ以外の目的について、本人の了承なしに、個人情報を第三者に提供することはありません。





# 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理実績報告書(様式1)

1. 本報告書の対象期間は令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の1年間です。
2. 本報告書の対象廃棄物は、佐賀県内及び県外の事業所から受託し、又は自社の事業活動から生じた産業廃棄物について、佐賀県内に所在する次の施設で処理・処分した物が対象となります。
  - 1) 中間処理施設、
  - 2) 埋立処分場
 なお、移動式施設の許可を有する場合は、佐賀県内で処理した産業廃棄物のみが対象となります。
3. 前年度の処理実績が何もなかった場合は、下記の「事業所の概要」、「事業の内容」、「処理の有無」欄まで記入して提出してください。
4. 別紙「産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理実績報告書の記入の手引き」に記入要領・記入例を記載しておりますので参考にしてください。
5. 提出された報告内容について、お問い合わせする場合がありますので、控えを取っておいてください。

事業所の概要	事業所名				許可を受けている事業内容の番号左横に、○をつけてください。	
	所在地					
	フリガナ		フリガナ		1.収集・運搬	
	代表者氏名		記入者 (部課、氏名)		2.積替・保管	
	記入年月日	令和	年	月	日	3.中間処理
						4.埋立処分
		FAX	-	-	5.海洋投入処分	

処理の有無	令和元年度の1年間に産業廃棄物及び、特別産業廃棄物を処理しましたか。該当する番号左横に○をつけてください。	
	1. 処理した	→
	2. 処理実績なし	↓

添付した「記入の手引き」を参考にして、裏面「様式2」及び別紙の「様式3」に貴事業所で処理(収集運搬は除く)した産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の状況について記入してください。

上記の事業所の概要、事業の内容に記入のうえ、ご提出ください。

\* この報告書に記載された個人情報、産業廃棄物の適正処理推進のため利用させていただきます。これ以外の目的について、本人の了承なしに、個人情報を第三者に提供することはありません。

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理実績報告書(様式2)

★この報告書の対象期間は平成31年4月1日～令和2年3月31日の1年間です。この期間中の産業廃棄物の受託と処理・処分状況を質問事項の①～⑯までの流れに従って記入してください。

本票は、受託から中間処理施設(または自社最終処分場)での産業廃棄物の処理・処分実績(①～⑧)についてご記入ください。

①委託者の名称  
貴事業所(報告者)に産業廃棄物の処理・処分を委託した者(排出事業者、あるいは処理業者)の「氏名又は名称」を記入してください。なお、中間処理施設または最終処分場設置者が自社の事業活動等から排出した廃棄物を処理・処分した場合は、「自社」と記入してください。

②産業廃棄物の分類番号  
別紙(A4両面)の「産業廃棄物分類表」から該当する番号を記入してください。番号は特別管理産業廃棄物の場合は4ケタとしてください。通常の産業廃棄物の場合で、細目が不明の場合は上2ケタで結構です。

③住所  
県外は県名のみ、県内は市町名まで記入してください。

④年間の受託量  
各行に1年間の受託産業廃棄物量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入してください。なお、該当する単位を必ず○で囲んでください。

⑤中間処理の方法番号  
該当する自社中間処理の方法の記号を下記A～Zから選んで、**中間処理の過程順**に記入してください。

A:焼却 C:天日乾燥 E:油水分離 G:破碎 I:圧縮 K:切断 M:堆肥化 O:コンクリート固型化 U:非鉄金属回収 W:油化 Z:その他[具体的に]  
B:脱水 D:機械乾燥 F:中和 H:分級 J:溶融 L:焼成 N:銀回収 T:金属(鉄)回収 V:濃縮 Y:選別 Z1:圧縮・梱包 Z10:破袋分別

⑥産業廃棄物の分類番号  
中間処理後の種類を別紙(A4両面)の「産業廃棄物分類表」から該当する番号を記入してください。

⑦中間処理後量  
中間処理後の産業廃棄物量を記入してください。なお、該当する単位を必ず○で囲んでください。

⑧中間処理後の処理・処分等の記号  
⑤の各行ごとに中間処理後の産業廃棄物の処理・処分または再生利用の方法を下欄「処理・処分等方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。なお、未処理の保管、直接埋立処分、売却等の場合も記入してください。

受託(自社の事業活動を含む)													
区分	S2 行番	①委託者の名称	②分類番号 (処理前の種類)	③住所	④受託した年間量							単位	
					百万	十万	万	千	百	十	一		
記          欄	1											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	2											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	3											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	4											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	5											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	6											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	7											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	8											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	9											1. kg 3. m3 2. t 4. %	
	10											1. kg 3. m3 2. t 4. %	

中間処理及び自社最終処分													
⑤方法番号			⑥分類番号 (処理後の種類)	⑦中間処理後量							⑧処理・処分等の記号		
1次処理	2次処理	3次処理		百万	十万	万	千	百	十	一		単位	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	
												1. kg 3. m3 2. t 4. %	

⑧処理・処分等方法コード表

<自社処理>  
Q1: 自社の安定型処分場で埋立処分した。  
Q2: 自社の管理型処分場で埋立処分した。  
V1: 自社で再利用した。  
V2: 自社現場内で利用した。  
Z1: 自社で保管している。

Z2: その他  
具体的に

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>  
S1: 処分業者に直接埋立を処分を委託した。  
T1: 処分業者に直接海洋投入処分を委託した。  
U1: 処理業者に中間処理(焼却・脱水等の処理、または破碎処理によるリサイクル等)を委託した。  
X1: リサイクル業者へ無償譲渡した。

<その他>  
W1: 売却(利益があった)した。  
Z3: その他  
具体的に



本票は、中間処理後の処理委託又は売却状況等(⑨～⑮)についてご記入ください。

**⑨処理・処分等の記号**  
 ⑧で、<産業廃棄物処理業者等への委託処理>、<その他>のコードを選択した場合、中間処理後の産業廃棄物の処理・処分又は再生利用の方法を下欄の「処理・処分等方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。  
 (中間処理後の廃棄物について、中間処理後の種類が同じで、処理委託先又は売却先も同一の場合は、⑩以降を処理・処分ごとにまとめて、ご記入いただいで結構です。)

**⑩処理後の分類番号**  
 ⑪以降の処理・処分ごとに自社中間処理後の種類を別紙(A4両面)の「産業廃棄物分類表」から該当する番号を記入してください。なお、未処理の場合は「②処理前の種類」と同じになります。  
**⑪自社中間処理後の処理委託量又は売却量等**  
 ⑫以降の処理委託先又は売却先ごとに自社中間処理後の産業廃棄物量を記入してください。なお、該当する単位を必ず○で囲んでください。

**⑫処理委託先又は売却先の名称等**  
 処理委託又は売却等(⑨に該当する)を行った先の名称と電話番号を記入してください。  
 ※収集運搬業者を記入する必要はありません。  
**⑬処理委託先又は売却先の住所**  
 処理委託又は売却等を行った処理・処分施設、売却先の事業所の住所を記入してください。なお、県外は県名のみ、県内は市町名まで記入してください。

**⑭二次委託先での中間処理の方法**  
 ⑨の「処理・処分等の方法」で「U1」と回答された場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。  
**⑮再生利用・リサイクルの用途**  
 ⑨の「処理・処分等の方法」で「W1」、「X1」と回答された場合、下欄の「再生利用用途コード表」から該当する番号を記入してください。

中間処理後の処理・処分等(売却等の再生利用含む)																
区分	S3	行番	⑨ 処理・処分 等の記号	⑩分類番号 (処理後の種類)	⑪処理委託量又は売却量					⑫処理委託先又は売却先の名称等 (収集運搬業者を除く)	⑬住 所	⑭二次委託先での方法番号			⑮ 再生利用用途	
					百万	十万	万	千	百			十	一	単位		1次処理
入 欄		1									( )	-				
		2									( )	-				
		3									( )	-				
		4									( )	-				
		5									( )	-				
		6									( )	-				
		7									( )	-				
		8									( )	-				
		9									( )	-				
		10									( )	-				

**⑨処理・処分等方法コード表**  
 <産業廃棄物処理業者等へ委託処理>  
 S1: 処分業者に直接埋立処分を委託した。  
 T1: 処分業者に直接海洋投入処分を委託した。  
 U1: 処理業者に中間処理(焼却・脱水等の処理、または破碎処理によるリサイクル等)を委託した。  
 X1: リサイクル業者へ無償譲渡した。  
 <その他>  
 W1: 売却(利益があった)した。  
 Z3: その他  
 具体的に

**⑭処理方法コード表**  
 A: 焼却  
 B: 脱水  
 C: 天日乾燥  
 D: 機械乾燥  
 E: 焼却残渣  
 F: 中和  
 G: 破碎  
 H: 圧縮  
 I: 圧縮  
 J: 圧縮  
 K: 切断  
 L: 焼成  
 M: 堆肥  
 N: 堆肥  
 O: 堆肥  
 P: 堆肥  
 Q: 堆肥  
 R: 堆肥  
 S: 堆肥  
 T: 堆肥  
 U: 堆肥  
 V: 堆肥  
 W: 堆肥  
 X: 堆肥  
 Y: 堆肥  
 Z: 堆肥  
 Z1: 圧縮・梱包  
 Z10: 破袋分別  
 Z: その他  
 具体的に

**⑮再生利用用途コード表**  
 10: 鉄鋼原(材)料  
 20: 非鉄金属・貴金属原(材)料  
 30: 燃料又はその原(材)料  
 31: 木炭又は炭化物  
 41: 飼料又はその原(材)料  
 42: 肥料又はその原(材)料  
 43: 土壌改良材又はその原(材)料  
 50: 土木・建設材料  
 51: 再生木材・再生合板  
 52: 再生(土)骨材・再生路盤材  
 60: ハルブ・紙又はその原(材)料  
 70: ガラス原(材)料  
 80: プラスチック原(材)料  
 81: 再生タイヤ  
 90: セメント原材料  
 91: 再生油・再生溶剤  
 92: 中和剤  
 99: その他  
 具体的に

注) 10行以上の記入欄が必要な場合は、あらかじめ用紙をコピーして使用してください。

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理実績報告書（様式3）

★この報告書の対象期間は平成31年4月1日～令和2年3月31日の1年間です。この期間中の産業廃棄物の受託と処理・処分状況を質問事項の①～⑩までの流れに従って記入してください。

中間処理後の処理・処分等（売却等の再生利用含む）																
S3	区分 行番	⑨ 処理・処分等の 記号	⑩分類番号 (処理後の種類)	⑪処理委託量又は売却量							⑫処理委託先又は売却先の名称等 (収集運搬業者を除く)	⑬住 所 県外は県名のみ、県内は市町名 まで入力してください	⑭二次委託先での方法番号			⑯ 再生利用用途
				百万	十万	万	千	百	十	一			単位	1次処理	2次処理	
入	記	11									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		12									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		13									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		14									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		15									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		16									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		17									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		18									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		19									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		20									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
入	記	21									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		22									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		23									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		24									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		25									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		26									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		27									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		28									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		29									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		30									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
入	記	31									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		32									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		33									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		34									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		35									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		36									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		37									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		38									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		39									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				
		40									1. kg 3. m3 2. t 4. %	( ) -				



# 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物処理実績報告書の記入の手引き

- ※ この手引きには、報告書の具体的な記入例が記載してあります。
- ※ 「記入例」を参考にして様式にご記入の上、ご提出くださいますようお願いいたします。
- ※ 本報告書の提出先及び問い合わせ先は、別紙の報告要領の報告期限及び報告先のとおりです。
- ※ ご提出いただいた報告書の記入内容について、電話等により確認させていただく場合がありますので、必ず報告書の控えを取っておいていただきますようお願いいたします。

## 報告書（様式1）の記入要領・記入例

の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にして(様式1)を記入してください。

事業所の概要	事業所名	(株) △△△			事業の内容	許可を受けている事業内容を○で囲んでください。  ① 収集・運搬 ② 積替・保管 ③ 中間処理 ④ 埋立処分 ⑤ 海洋投入処分
	所在地	佐賀市△-□□				
	フリガナ	サガ タロウ	フリガナ	サガ ハナコ		
	代表者氏名	佐賀 太郎	記入者 (部課、氏名)	〇〇部〇〇課 佐賀 花子		
	記入年月日	令和 2年 月 日	TEL	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		
		FAX	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇			

処理の有無	令和元年度の1年間に産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を処理しましたか。該当する番号に○をつけてください。
	① 処理した。
	② 処理実績なし。

添付した「記入の手引き」を参考にして、様式2及び様式3に貴事業所で処理（収集運搬は除く）した産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の状況について記入してください。

上記事業所の概要、事業の内容を記入のうえ、ご提出ください。

\* この報告書に記載された個人情報は、産業廃棄物の適正処理推進のため利用させていただきます。これ以外の目的について、本人の了承なしに、個人情報を第三者に提供することはありません。

# ＜産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物(様式2)の記入要領・記入例＞

## (様式2)の記入例

の太字部分が、記入事例箇所を示しています。  
記入例を参考にして(様式2)を記入してください。

本報告書の対象産業廃棄物は、中間処理施設または最終処分場で処理・処分した産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物です。

別紙(A4両面)の産業廃棄物分類表を参照してください。特別管理産業廃棄物の場合は4ケタ、通常の産業廃棄物の場合で、細目が不明な場合は上2ケタで結構です。

該当する単位の番号に、必ず〇をつけてください。

- ⑤中間処理方法コード表
- A: 焼却
  - B: 脱水
  - C: 天日乾燥
  - D: 機械乾燥
  - E: 油水分離
  - F: 中和
  - G: 破砕
  - H: 分級
  - I: 圧縮
  - J: 溶解
  - K: 切断
  - L: 焼成
  - M: 堆肥化
  - N: 銀回収
  - O: コークストーン型化
  - V: 濃縮
  - T: 金属(鉄)回収
  - U: 非鉄金属回収
  - W: 油化
  - Y: 選別
  - Z: その他(具体的な方法)

### ⑧処理・処分方法コード表

- ＜自社処理＞
- Q1: 自社の安定型処分場で埋立処分した。
  - Q2: 自社の管理型処分場で埋立処分した。
  - V1: 自社で再利用した。
  - V2: 自社現場内で利用した。
  - Z1: 自社で保管している。
  - Z2: その他(具体的な処理方法: )
- ＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
- S1: 処分業者に直接埋立処理を委託した。
  - T1: 処分業者に直接海洋投入処分を委託した。
  - U1: 処理業者に中間処理(資源化・リサイクル等)を委託した。
  - X1: 廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等でリサイクル(無償譲渡)した。
- ＜その他＞
- W1: 売却(利益があった)した。
  - Z3: その他(具体的な処理・処分方法: )

微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」と記入し、単位はkgに〇を付けてください。

区分	S2 行番	①委託者の名称	②分類番号 (処理前の種類)		③住所	④受託した年間量							単位
						百万	十万	万	千	百	十	一	
記入例:A	1	(有)〇×建設	0	2	佐賀市				1	0	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %
記入例:B	2	△〇〇(株)	0	4	伊万里市					5	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %
記入例:C	3	(株)△産業	0	7	大分県					9	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %
	4	//	0	6	大分県				1	2	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %
記入例:D	5	(有)◇〇工業	0	3	鳥栖市					1	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %
	6	//	0	3	鳥栖市								1. kg 3. m3 2. t 4. %
記入例:E1	7	自社	1	5	有田町				1	0	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %
記入例:E2	8	//	1	5	有田町								1. kg 3. m3 2. t 4. %
記入例:E3	9	//	1	5	有田町								1. kg 3. m3 2. t 4. %
記入例:E4	10	//	1	5	有田町								1. kg 3. m3 2. t 4. %

中間処理又は自社最終処分												⑧処理・処分等の記号			
⑤方法番号			⑥分類番号 (処理後の種類)		⑦中間処理後量										
1次処理	2次処理	3次処理			百万	十万	万	千	百	十	一	単位			
													1. kg 3. m3 2. t 4. %	Q	2
F	B		0	2							8	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	Q	2
A			0	1					1	8	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	S	1	
A			0	1					2	4	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	S	1	
E	A		0	1							1	1. kg 3. m3 2. t 4. %	S	1	
E			0	3						9	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	W	1	
Y	G	H	1	5					7	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	W	1	
Y			0	6					1	2	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	Q	1	
Y			0	6						8	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	U	1	
Y	G		0	8					1	0	0	1. kg 3. m3 2. t 4. %	W	1	

⑧を＜自社処理＞のコード(「Q1」、「Q2」、「V1」、「V2」、「Z1」)から選択した場合は、ここで記入終了です。＜産業廃棄物処理業者等への委託処理＞及び＜その他＞のコード番号を選択した場合は、様式3へ進んでください。

委託者の種類ごとに記入してください。

記入例:A

- 南〇×建設の佐賀市内の工事現場で脱水処理された後の建設汚泥を年間1000t取り扱った。
- 1000tの建設汚泥は、佐賀市にある自社の管理型処分場で埋立処分した。

記入例:B

- △〇〇(株)の伊万里工場で発生した廃酸500tを受託し、自社の施設(県内)で中和→脱水した。
- 処理後の汚泥は、自社の平均残渣率より算出して80t程度で、佐賀市にある自社の管理型処分場で処分した。

記入例:C

- (株)△産業(大分県内)から、900tの紙くずと1200tの廃プラスチックを受託し、自社(佐賀県内)で焼却処理した。
- 焼却灰については、全量を宮崎県の××興産にて埋立処分を委託した。焼却灰量は自社の平均残渣率より算出した。

記入例:D

- (有)◇〇工業の鳥栖工場から、年間1000tの廃油を受託した。
- 全量、自社(県内)で油水分離し、90tの油を回収して燃料油として大分県の〇〇水産(株)に販売している。
- 分離後の汚泥10tは、自社で焼却し、焼却灰は宮崎県の××興産の処分場で埋立処分(委託)した。焼却灰量は自社の平均残渣率より算出。

※油水分離後の廃油は記入する必要はありません。

記入例:E

- 自社で請負った有田町内の建設工事で発生した、1000tの建設系混合廃棄物を処理した。
- 自社(県内)での選別により、コンクリート殻が700t、廃プラスチックが200t、木くずが100tとなった。
- コンクリート殻は自社で破砕し、下層路盤材として佐賀市の〇△道路(株)に納入(売却)した。【例E1】
- 廃プラスチックのうち120tは、鳥栖市にある自社の安定型処分場で埋立処分した。【例E2】
- 残りの廃プラスチック80tは、鳥栖市の××(株)に中間処理(焼却)を委託した。【例E3】
- 木くずは自社で破砕し、全量を佐賀市の(株)□□興業に売却した。□□興業では再生合板の原料となっている。【例E4】

# <産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物(様式3)の記入要領・記入例>

## (様式3)の記入例

■の太字部分が、記入事例箇所を示しています。  
記入例を参考にして(様式3)を記入してください。

本報告書の対象産業廃棄物は、中間処理施設または最終処分場で処理・処分した産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物です。

別紙(A4両面)の産業廃棄物分類表を参照してください。特別管理産業廃棄物の場合は4ケタ、通常の産業廃棄物の場合で、細目が不明な場合は上2ケタで結構です。

⑤中間処理方法コード表

A	焼却
B	脱水
C	天日乾燥
D	機械乾燥
E	油水分離
F	中和
G	破碎
H	分級
I	圧縮
J	溶融
K	切断
L	焼成
M	堆肥化
N	銀回収
O	コンクリート固型化
T	金属(鉄)回収
U	非鉄金属回収
V	濃縮
W	油化
Y	選別
Z	その他

⑧、⑨処理・処分方法コード表

<自社処理>  
Q1: 自社の安定型処分場で埋立処分した。  
Q2: 自社の管理型処分場で埋立処分した。  
V1: 自社で再利用した。  
V2: 自社現場内で利用した。  
W1: 売却(利益があった)した。  
Z1: 自社で保管している。  
Z2: その他(具体的な処理方法: )

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>  
S1: 処分業者に直接埋立処理を委託した。  
T1: 処分業者に直接海洋投入処分を委託した。  
U1: 処理業者に中間処理(資源化・リサイクル等)を委託した。  
X1: 廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等でリサイクル(無償譲渡)した。

<その他>  
W1: 売却(利益があった)した。  
Z3: その他(具体的な処理・処分方法: )

⑭中間処理方法コード表

A	焼却
B	脱水
C	天日乾燥
D	機械乾燥
E	油水分離
F	中和
G	破碎
H	分級
I	圧縮
J	溶融
K	切断
L	焼成(※外原材料)
M	堆肥化(発酵)
N	銀回収
O	コンクリート固型化
T	金属(鉄)回収
U	非鉄金属回収
V	濃縮
W	油化
Y	選別
Z	その他(具体的な処理方法)

⑮再生利用用途コード表

10	鉄鋼原(材)料
20	非鉄金属等原(材)料
30	燃料又はその原材料
31	木炭又は炭化物
41	飼料又はその原材料
42	肥料又はその原材料
43	土壌改良材又はその原材料
50	土木・建設資材
51	再生木材・再生合板
52	再生(土)・骨材・再生路盤材
60	パルプ・紙原材料
70	ガラス原材料
80	プラスチック原材料
81	再生タイヤ
90	セメント原材料
91	再生油・再生溶剤
92	中和剤
99	その他(具体的な再生利用用途)

該当する単位の番号に、必ず○をつけてください。

微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」と記入し、単位はkgに○をつけてください。

売却先が不特定の場合や住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で結構です。

- 記入例:A
- 記入例:B
- 記入例:C
- 記入例:D
- 記入例:E1
- 記入例:E2
- 記入例:E3
- 記入例:E4

中間処理又は自社最終処分										中間処理後の処理・処分等(売却等の再生利用含む)																	
区分	S2	行番	①委託者の名称	②分類番号(処理前の種類)	⑤方法番号			⑥分類番号(処理後の種類)			⑦中間処理後量			⑧処理・処分等の記号	⑨処理・処分等の記号	⑩分類番号(処理後の種類)	⑪処理委託量又は売却量			⑫処理委託先又は売却先の名称等(収集運搬業者を除く)	⑬住所	⑭二次委託先での方法番号			⑮再生利用用途		
					1次	2次	3次	1	2	3	1	2	3				1	2	3			1	2	3			
			(有) O X 建設	0 2									Q 2	S 1	0 1				4 2 1	1 kg 3. m3 2 t 4. %	XX 興産	(0000) 00-0000	宮崎県				
		記	△ O O (株)	0 4 0	F B						8 0	Q 2	W 1	0 3				9 0	1 kg 3. m3 2 t 4. %	OO 水産(株)	(0000) 00-0000	大分県				3 0	
			(株) △ 産業	0 7	A						1 8 0	S 1	W 1	1 5				7 0 0	1 kg 3. m3 2 t 4. %	O△ 道路(株)	(0000) 00-0000	佐賀市				5 0	
			〃	0 6	A						2 4 0	S 1	U 1	0 6				8 0	1 kg 3. m3 2 t 4. %	XX (株)	(0000) 00-0000	鳥栖市	A				
		入	(有) ◇ O I 業	0 3 1	E A						1	S 1	W 1	0 8				1 0 0	1 kg 3. m3 2 t 4. %	(株) □ □ 興産	(0000) 00-0000	佐賀市				5 1	
			〃	0 3 1	E						9 0	W								( ) -							
			自社	1 5 3	Y G H						7 0 0	W									( ) -						
		欄	〃	1 5 3	Y						1 2 0	Q 1									( ) -						
			〃	1 5 3	Y						8 0	U									( ) -						
			〃	1 5 3	Y G						1 0 0	W									( ) -						

委託者の種類ごとに記入してください。

中間処理後の種類が同じで処理委託先又は売却先が同一の場合は、処理・処分ごとにまとめて記入していただく結構です。

記入例:A  
・(有)O X 建設の佐賀市内の工事現場で脱水処理された後の建設汚泥を年間1000t取り扱った。  
・1000tの建設汚泥は、佐賀市にある自社の管理型処分場で埋立処分した。

記入例:B  
・△ O O (株)の伊万里工場で発生した廃酸500tを受託し、自社の施設(県内)で中和→脱水した。  
・処理後の汚泥は、自社の平均残渣率より算出して80t程度で、佐賀市にある自社の管理型処分場で処分した。

記入例:C  
・(株)△ 産業(大分県内)から、900tの紙くずと1200tの廃プラスチックを受託し、自社(佐賀県内)で焼却処理した。  
・焼却灰については、全量を宮崎県のXX 興産にて埋立処分を委託した。焼却灰量は自社の平均残渣率より算出した。

記入例:D  
・(有)◇ O I 業の鳥栖工場から、年間100tの廃油を受託した。  
・全量、自社(県内)で油水分離し、90tの油を回収して燃料油として大分県のOO 水産(株)に販売している。  
・分後の汚泥10tは、自社で焼却し、焼却灰は宮崎県のXX 興産の処分場で埋立処分(委託)した。焼却灰量は自社の平均残渣率より算出。  
※油水分離後の廃水は記入する必要はありません。

記入例:E  
・自社で請負った有田町内の建設工事で発生した、1000tの建設系混合廃棄物を処理した。  
・自社(県内)での選別により、コンクリート殻が700t、廃プラスチックが200t、木くずが100tとなった。  
・コンクリート殻は自社で破碎し、下層路盤材として佐賀市のO△ 道路(株)に納入(売却)した。【例E1】  
・廃プラスチックのうち120tは、鳥栖市にある自社の安定型処分場で埋立処分した。【例E2】  
・残りの廃プラスチック80tは、鳥栖市のXX (株)に中間処理(焼却)を委託した。【例E3】  
・木くずは自社で破碎し、全量を佐賀市の(株)□ □ 興産に売却した。□ □ 興産では再生合板の原料となっている。【例E4】

様式3

# 廃棄物分類表(その1)

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本用紙右下の特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

## 1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

種 類		分類番号	具 体 例		
汚泥 (泥状のもの)	有機性汚泥	0211	製紙汚泥、活性汚泥(余剰汚泥)、ビルビット汚泥(し尿を含むものは除く)、染色廃水処理汚泥、クリーニング廃水処理汚泥(水洗を主とする場合)、イースト菌培養残さ、その他泥状を呈する有機性廃棄物		
		下水汚泥	0212	下水汚泥	
	無機性汚泥	0221	めっき汚泥、金属表面処理汚泥、研磨汚泥、砂利洗浄汚泥、セメント工場廃水処理汚泥、窯業廃水処理汚泥、水酸化アルミ汚泥、イオン交換樹脂再生廃液処理汚泥、金属さび粉体、廃ショットプラスト(さび落ししたものに限る)、廃サンドプラスト(塗料かすを含むものに限る)、脱硫石こう、赤泥、ガラス研磨汚泥、金属研磨汚泥、道路側溝汚泥、洗車汚泥、廃白土、油水分離後の汚泥、廃顔料、その他泥状を呈する無機性廃棄物		
		建設汚泥	0222	建設高含水率汚泥、ベントナイト泥水	
		上水汚泥	0223	上水汚泥	
廃油	一般廃油	鉱物油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油、潤滑油、燃料	
		動植物性油脂	0312	魚油、鯨油、ヘット、ラード、天ぷら油、サラダ油、アマニ油、桐油、ゴマ油、なたね油、やし油、大豆油、とうもろこし油	
	廃溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油		
	固形油	0330	アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろう、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、パステル		
	油でい	0340	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム		
	油付着物等	0350	油のしみたウエス、油紙くず、廃吸油材、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、廃塗料(液状)、インクかす、廃ワニス、		
廃酸	無機性の酸性廃液	0401	塩酸、硫酸、フッ酸、クロム酸、リン酸、フッ化水素酸、過塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸性洗浄液、エッチング廃液、染色酸性廃液(漂白浸せき工程、染色工程)、クロメート廃液、硫酸ピッチ		
	写真定着廃液	0402	写真定着廃液		
	有機性の酸性廃液	0403	ギ酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液		
廃アルカリ	アルカリ性廃液	0501	アルカリ性洗浄廃液、液洗びん用廃アルカリ、石灰廃液、廃灰汁、アルカリ性メッキ廃液、ドロマイト廃液、染色排水(精錬工程、シルケット加工)、黒液(チップ蒸解廃液)、脱脂廃液(金属表面処理)、硫化ソーダ廃液、クーラント液(LLC)		
	写真現像廃液	0502	写真現像廃液		
廃プラスチック類	F R P	0611	繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP廃船		
	熱可塑性プラスチック	0612	ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂		
	熱硬化性樹脂	0613	フェノール樹脂(ベークライト)、ユリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニン樹脂、ウレタン樹脂		
	プラスチック製品くず	0614	塗料かす(固形)、エナメルかす、ラッカーかす、廃ポリマー、廃ワニス(樹脂系のもの)、染料かす(樹脂系のもの)、接着剤かす、電熱皮膜材、フィルム、プラスチックタイル(Pタイルを除く)、発泡スチロール、ビニールシート、ビニール袋、塩ビ管		
	合成ゴム	0615	パッキンくず、ライニングくず、固形ラテックス		
	石綿含有プラスチックくず	0616	ビニル床タイル(Pタイル)		
	合成繊維	0617	ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維		
	廃タイヤ	0625	大型車用廃タイヤ		
0626	普通車・軽自動車用廃タイヤ				
紙	く	ず	0701	印刷用紙、裁断紙くず、段ボール、コピー用紙	
木	く	ず	0801	木くず、おがくず、かんなくず、バーク類、ベニヤ、ベニヤボード類	
			0830	防腐・防虫木材、薬液処理合板、CCA処理木材	
織	維	く	ず	0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、混紡繊維(天然繊維が主体のもの) <<注意!>>合成繊維は「廃プラスチック類」に分類されます。
動植物性残さ	動物性残さ	1001	魚・獣の骨、魚・獣の皮・内臓などあら、皮革くず、ポイルかす、缶詰め・瓶詰め不良品、乳製品精製残さ、卵から、貝殻、羽毛		
		植物性残さ	1002	ソースかす、醤油かす、こうじかす、酒かす、ビールかす等の発酵・醸造かす、あめかす、糊かす、でんぶんかす、豆腐かす、あんかす、茶かす、米、麦粉、大豆かす、不良豆、果物の皮、種子、野菜くず、葉草かす、油かす、パンくず、原料くず	
動物系	固形	不要物	2100	と畜場から生ずる獣畜に係る固形状の不要物、食鳥処理場から生ずる食鳥に係る固形状の不要物	

# 廃棄物分類表(その2)

種 類		分類番号	具 体 例			
ゴ ム く ず		1100	ゴムくず、エボナイトくず、ゴム手袋、ゴムチューブ、ゴム板くず			
金 属 く ず	鉄 く ず	1210	鉄くず、スクラップ(鉄が主体のもの)、ブリキくず、トタンくず、スチール缶			
	非 鉄 く ず	1220	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶			
	混 合 金 属 く ず	1230	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの			
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガ ラ ス く ず	1310	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス食器、光学レンズ、クリスタルガラス、理化学用ガラス器具、薬品ビン			
	陶 磁 器 く ず	1320	セラミックくず、レンガ、かわら、陶器			
	石 膏 ボ ー ド	1330	石膏ボードくず			
	コ ン ク リ ー ト 製 品 く ず	1340	コンクリート製品くず(工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたものを除く)			
鉱 さ い	廃 砂	1401	鑄物砂、サンドブラスト廃砂			
	炉 さ い	1402	高炉水さい、高炉の残さ、平炉の残さ、転炉の残さ、電気炉の残さい、キューボラのノロ、ドロス、カラム			
	鉱 さ い 類	1403	不良鉱石、ボタ、粉炭かす、鉱じん、破石くず			
が れ き 類 [工作物の新築、改築又は除去に伴うもの]	コ ン ク リ ー ト 片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片			
	廃 ア ス フ ァ ル ト	1520	アスファルトコンクリートの破片			
	そ の 他	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、れんが、瓦、石材(工作物の新築、改築又は除去に伴って発生した安定混廃を含む)			
	非飛散性アスベスト廃棄物	1536	スレート、窯業系サイディング、繊維強化セメント、木毛セメントボード			
建 設 混 合 廃 棄 物		1532	工事現場等で分別を行わなかったもの、安定型処分場に直接処分できないもの(工作物の新築、改築又は除去に伴って発生した管理混廃)			
動 物 の ふ ん 尿		1800	家畜のふん尿、牛のふん尿、豚のふん尿、にわとりのふん尿、馬のふん尿			
動 物 の 死 体		1900	家畜の死体、牛の死体、豚の死体、にわとりの死体、馬の死体			
ば い じ ん		1601	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダスト、煙道・煙突に付着堆積したすす			
燃 え 殻	燃 え 殻	0100	産業廃棄物等の焼却残さ物			
		0101	燃料などの焼却灰(石炭殻、コークス灰、重油灰、木灰、炉掃出物、クリンカなど) 《注意!》可燃ごみなどを自己で焼却処理した場合、「燃え殻」ではなく、焼却する前の「紙くず」、「木くず」等を発生時の種類として記入してください。			
	廃 活 性 炭 ・ 廃 カ ー ボ ン	0102	廃活性炭、廃カーボン			
シ ュ レ ッ タ ー ダ ス ト		3010	廃自動車破砕物、廃電気機械器具破砕物			
その他 「次の廃棄物は上記具体例での分類をせず、以下の分類としてください」						
種 類	廃電気機械器具	廃ブラウン管(側面部)	廃プリント基板	蛍光灯	廃バッテリー	使用済自動車
分類番号	4010	4011	4012	4013	4020	4030

## 2. 特別管理産業廃棄物

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

特別管理産業廃棄物	引火性廃油	0318	揮発油類(燃えやすい廃油、ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)	
	腐食性廃酸	0408	水素イオン濃度指数(pH)2.0以下の廃液	
	腐食性廃アルカリ	0508	水素イオン濃度指数(pH)12.5以上の廃アルカリ	
	感染性廃棄物	2018	血液、血清、血漿、体液(精液を含む)、血液製剤、血液等が付着した鋭利なもの(注射針、メス、試験管、シャーレ、ガラスくず等)、血液等が付着した実験・手術用手袋等、病原微生物に関連した試験・検査等に用いられたもの(試験管、シャーレ等)、汚染物が付着した廃プラスチック類等	
	特定有害産業廃棄物	特定有害燃え殻	0109	特定有害物質を含む焼却灰
		特定有害有機性汚泥	0219	特定有害物質を含む汚泥
		特定有害無機性汚泥	0229	特定有害物質を含む汚泥
		特定有害廃油	0319	特定有害物質を含む廃油、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレンを含む廃油等
		特定有害廃酸	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
		特定有害廃アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
		特定有害廃石棉等	1308	吹き付け石棉(アスベスト)、石棉含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石棉など
	特定有害鉱さい	1409	特定有害物質を含む鉱さい	
	特定有害ばいじん	1609	特定有害物質を含むばいじん	